

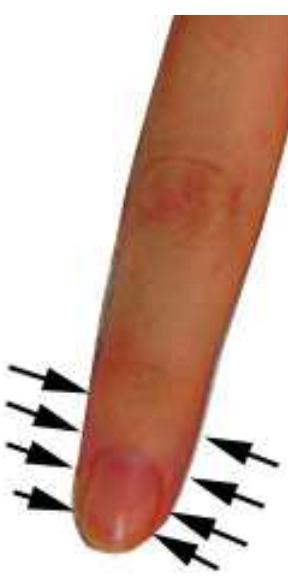
末梢治療の方法

*手と足の指とも、同じ方法です。下半身(足)の、末梢から先に治療されて下さい。特に高血圧の方は、血液が足元に下がる為です。末梢治療時の痛みは、流れが通るときの痛みです。全部の指の治療をしてください。

- ① 指の先を矢印のように、指の形にそって、左右に押してください。この部分は指輪があれば、指輪のほうが治療しやすいです。



- ② 爪の左右の横側を、くり返し押してください。指の形に添って、周囲を回るような感じで、指の側面を押してください。

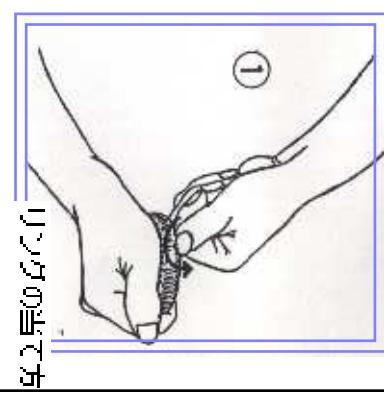


- ③ リンクで押さえ、そのまま指先方向へ何度もこすって下さい。爪の生え際、第一関節から指先、指の付け根から指先というように、何度もこります。



- ⑤ ①②③のと治療した後、点線部分をこすると指は血液が流れ血液の色で赤くなり、指が温かくなります。

これらの血液は心臓
に戻る(静脈管)

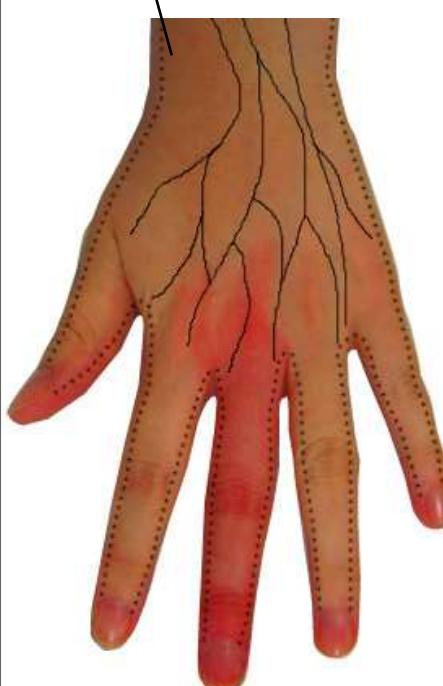


- 点線が静脈管
指先の治療をした後、必ず指の根元
から指先方向にこすって下さい。
(治療図⑥⑦参照)

⑥



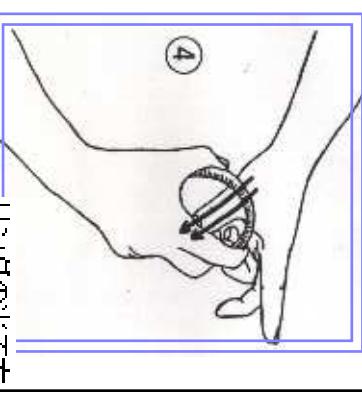
- 指先を全部、第一指から第五指まで治
療した後I～Vの部分にリンクを差し
込んで押してください。これによって
動きの悪かったリンクが液も活発に流れ
るようになります。



- その後、手首から手先の方向にかけ
て全体的にこすって下さい。

- 手首(足首)周囲も、押したりこすっ
たりしてください。

- ④ リンクで押したまま指先方向へ引っぱってください。
指の側面と裏側をのどおなじ要領でこります。

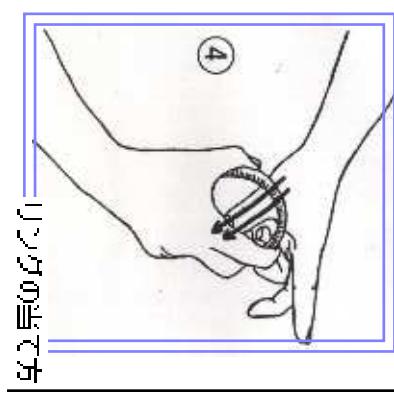


手の末梢治療によって、つまりが取れると血液の流れが正常になり、肌は赤くなつて
とても暖かく感じるようになります。この後、肩やワキの下から手先方向、肩やワキ
の下から頭方向に治療用リンクでこすって下さい。

- ③ リンクで押さえ、そのまま指先方向へ何度もこすって下さい。爪の生え際、第一関節から指先、指の付け根から指先というように、何度もこります。



- ④ リンクで押したまま指先方向へ引っぱってください。
指の側面と裏側をのどおなじ要領でこります。



●オルゴン施療の順序

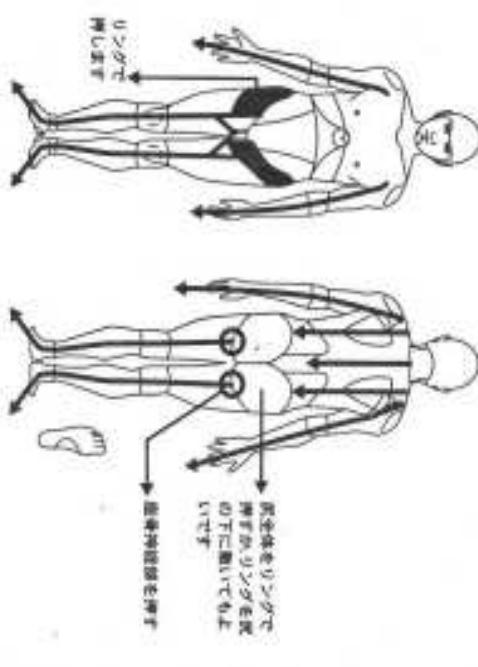
①各指の腹をリングで押します。
②リングで天田の方角に
こすって下さい。涙が出て
る時に押下さい。涙が
止まると体中に
リバ派が回ります。



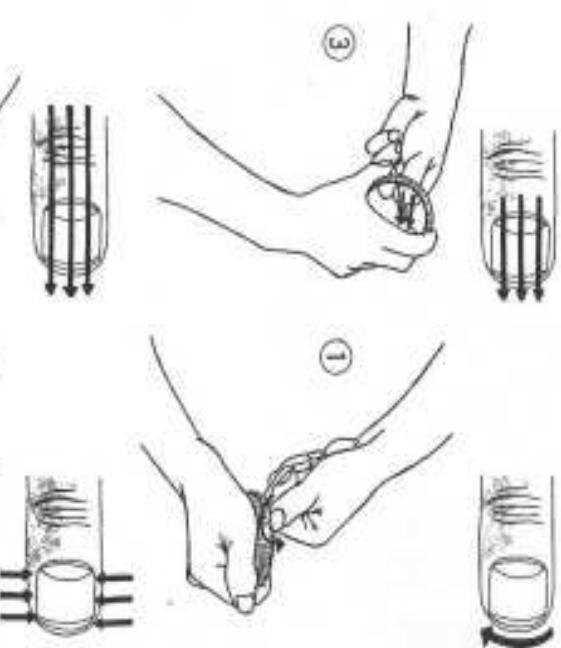
③から⑤までの部分は各指、各指の間全指向じょうに治療して下さい

●この圖を参考に足も治療して下さい
●足の指の裏側は指の根元から指先にかけて下さい

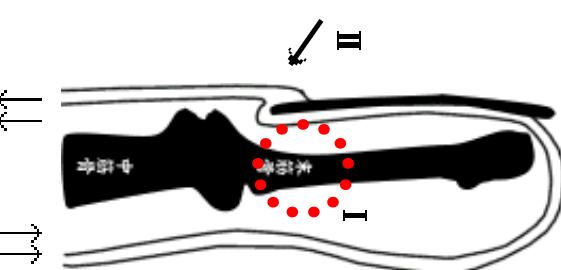
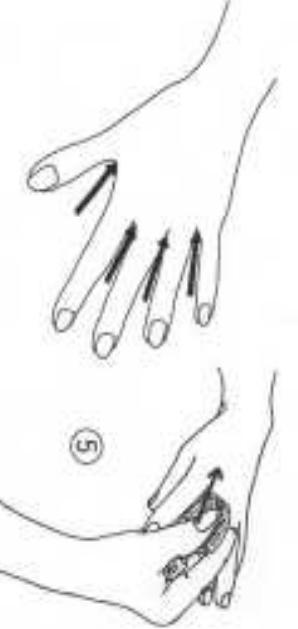
●オルゴン(治療用)リングの使い方—(全身)



●オルゴン(治療用)リングの使い方—(手)



●オルゴン(治療用)リングの使い方—(手・手首)



下半身の治療

足の末梢のつまりを取りることで、血液が正常に流れ、冷えもなくなり、足全体が暖かく軽くなります。手足の末梢のつまりを取りることで、体内の血液は正常に流れ、様々な病気まで改善されます。

足の末梢(指先)を、末梢治療図を元にこすってください。

※基本的に手は、手も足も治療方法は同じです。

心臓から送り出された血液は、酸素やエネルギー源を豊富に含んだ動脈血を全身、各臓器に送り届け、末梢部(手・足)から再び心臓に戻る。この間に各組織から二酸化炭素など消費後の老廃物を受け取って帰る。末梢部は、毛細血管であるため、ホルモン、リンパ、神経伝達物質(老廃物)がつまりやすい。末梢部の毛細血管がつまりると、各臓器に充分な栄養分が届けられない為、様々な病気を引き起こすと考えられる。オルゴンリングで末梢のつまりを取ることによって、健康な体になると考えられる。

細動脈に達した動脈血は、毛細血管をゆっくり流れ、細胞との間で物質や熱のやり取りをする。抹消の皮膚、特に指先、鼻尖、耳垂などや、一時的に多くの血液を必要とする消化管粘膜や陰茎海面体などには、動・静脈吻合が発達しており、神経支配によって、収縮、弛緩を起こす。

寒いときに指先が冷たくなるのは、毛細血管が収縮し、血液が動・静脈吻合を通るからである。これは、体温が��おり、神経支配によって、収縮、弛緩を起こす。



病気の予防と治療にオルゴン療法を!

